

02 健康寿命の延伸

高齢者が生きがいを持っていつまでも健康で元気に暮らせるよう、健康寿命の延伸に取り組めます。

●個別健診導入 (市民総合(特定)健康診査・ 歯科健康診査)

特定健康診査の受診機会の拡大を図るため、40歳以上の国民健康保険被保険者を対象に、現在市民保健センターで実施している集団健診に加え、市内の個別医療機関での受診も選択が可能となる個別健診方式を導入します。



●市単独での 介護保険事業の開始

くすのき広域連合の解散に伴い、令和6年度から市単独で介護保険事業を実施します。

質の高い介護予防サービス提供のためのシステムを導入するなど、介護予防の取り組みを充実します。



●外出支援の充実

高齢者や障がい者の移動、外出に対する支援を拡充します。

▽高齢者

新たに65歳以上の要介護1から3の車椅子利用者などを対象として、福祉タクシーの利用券を交付します。

▽障がい者

新たに65歳以上の1・2級の視覚障がい者を対象として、一般タクシーの利用券を交付します。

03 安全安心のまちづくり

災害への備えをはじめとして、さまざまな脅威から市民の生命と財産を守るため、安全安心のまちづくりに取り組めます。

●防災拠点の整備

南海トラフ巨大地震などの大災害に備え、平時の物資備蓄および災害時におけるプッシュ型救援物資の受入拠点として、(仮称)南部地域防災センターの建設に着手します。



●コミュニティセンター の整備

安全で安心なコミュニティ活動の促進に向け、庭窪コミュニティセンターの建替工事や前面道路の拡幅に向けた調査を進めます。

また、北部コミュニティセンターの老朽化に伴う本館の大規模改修と体育室への空調の設置を行います。

さらに、西部コミュニティセンターの老朽化対策として、改修に向けた実施設計を行います。

●新たな公園整備

平時は憩いの場、災害時には一時避難場所となる新たな公園整備を進めます。

▽大宮中央公園

(旧さくら小学校跡地)

▽旧佐太老人福祉センター

跡地公園

▽弥治右衛門碑前公園及び

藤田西公園

(再整備)

▽八雲東公園

(再整備)



04 魅力あふれるまちづくり

若い世代を始め、市内外の多くの方が守口市の魅力を感じられるまちづくりに取り組めます。

●守口市駅前周辺～文禄堤の活性化

文禄堤沿いに立地する「旧徳永家住宅」について、歴史文化の承継のための保存を行いつつ、京阪守口市駅前周辺のにぎわい創出、活性化に資するよう、民間事業者による効果的な活用を図るためのリノベーションを行います。



●大阪・関西万博に向けた取り組み

大阪・関西万博の開催に向け、2025年日本国際博覧会協会を始め、大阪府や市町村、経済界などとの連携を強化し、万博関連情報の発信やイベントへの参画等により機運醸成を図ります。

また、大阪府が実施する大阪・関西万博への子ども無料招待と連携し、市独自の無料招待を実施します。

令和6年度当初予算 主要な施策

問企画課

06-6992-1404

魅力と活気にあふれる「いつまでも住み続けたいまち 守口」の実現に向け、今年度に重点的に取り組む施策について紹介します。詳細は市ホームページに掲載しています。

01 未来への投資促進

子育て世代をはじめとする若い世代の定住促進を図り、活気あふれるまちづくりを実現するため、未来への投資促進に取り組めます。

●保育の受け皿の拡充

保育の受け皿のさらなる確保を図るため、令和7年度から新たに開設を予定する民間保育所3施設に対し、施設の整備に係る費用を補助します。

また、保育士等の確保に向け、新卒採用された保育士等に対し、民間事業者と連携して最大40万円を支給する民間保育士等緊急確保支援事業を、引き続き実施します。



●民間放課後児童クラブの設置促進

保護者などの選択肢を拡大する観点から、民間事業者による放課後児童クラブの設置を促進するため、運営する民間事業者に対する補助を新たに実施します。



●子育て家庭への支援を強化

令和6年10月から、市民保健センターに児童福祉法に基づく「こども家庭センター」を設置するとともに、支援を必要とする子どもや保護者などに、きめ細やか、かつ早期に対応するためのサポートプランの作成など、母子保健および児童福祉に関する一体的な相談支援機能を強化します。



●学校図書館の活用促進

子どもたちの読書習慣の定着に向け、小中学校各1校をモデル校とし、専門家の指導助言を受けつつ、学校図書館内の内装やレイアウト、掲示などの環境を整備します。



●新たな学校整備

施設の老朽化や児童・学級数の増加に対応するため、新たな学校・校舎の整備などに取り組めます。

▽守口小学校

▽さくら小学校

▽八雲中学校区

義務教育学校



●奨学金返還助成

若い世代の定住促進と中小企業の人材確保支援を目的として、奨学金を返還している市民が市内の中小企業に正規雇用された場合に、雇用先の企業と連携し、奨学金の返還を助成する制度を新たに開始します。

